

「なぎそねこ」地域特産品普及事業

取り組みに至る背景・事業の目的

南木曾町には、「ねこ」と呼ばれる防寒着が昔から伝えられている。

以前から「ねこ」を地域の特産品として定着させ、地域活性化につなげたいという製作者の希望があり、町では商標登録の申請やPRを行ってきた。しかし、「ねこ」を製作・販売している個人は複数いるものの、製作者同士のつながりがいいことから効果的にPRすることができなかった。

そこで、製作者と協力して、統一的なブランド「なぎそねこ」として売り出すことを目的に事業に取り組んだ。

事業内容

- 「ねこ」を製作・販売している個人事業者を統一してPRした。
- 「なぎそねこ」ブランドとして、統一デザインのタグを1万個製作・配布し、製品に縫い付けて説明カードを添えた。
- 「ねこ」の歴史や製品紹介のパンフレットを1万部製作し、各観光案内所への配置、観光パンフレットへの同封などを行って、町外へのPRを図った。
- 製品の品質向上を図るため、生産者を対象に講習会を開催した。



【講習会風景】

事業効果

統一のタグを付けたことで「なぎそねこ」というブランドとしての広がりが見られた。また、製作者も、タグを付けることが売上の増加につながることから、製作意欲が高まっている。

タグを付けるための品質基準を設けたことで、製作者に品質向上への意識づけが働くという効果があった。また、製作者を対象に講習会を開催したことで、製作者同士の横のつながりができた。

エコブームに乗り報道媒体へPRを行ったところ、新聞や雑誌、テレビに多く取り上げられ、大きな宣伝効果が得られた。売上も過去最高となり、問合せも急増している。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

報道媒体に取り上げてもらうよう情報提供を積極的に行うことで、費用をかけずに大きな宣伝効果を得よう努めた。

製作者の組合が立ち上がったことにより、今後独自の販売展開や活動が期待される。一方で、製作者の高齢化、後継者の育成など課題は多い。また、一時のブームで終わることのないよう、特産品として定着し、地域の活性化につながるよう活動を広げたい。

【選定のポイント】

伝統防寒着の「ねこ」のブランド化を目指す取り組みにより、品質の向上や製作意欲の高揚などの効果をもたらした。また、マスコミ等にも取り上げられ、町の特産品として広く県内外に流布するなど、地域の振興に貢献した。地域産業への波及など今後の進展が期待される。

<p>団体名 南木曾町 連絡先 商工観光係 <small>かしき</small> 榎木 電話 0264-57-2001 ホームページ http://www.town.nagiso.nagano.jp/index.html メールアドレス info@town.nagiso.nagano.jp</p>	<p>事業タイプ ソフト事業 事業費 872,930円 支援金額 870,000円</p>
--	---